

2009年4月7日

## 米系医療機器・IVD企業の国内62社、業界団体発足

主に米国に本社を置く医療機器・体外診断用医薬品(IVD)を製造・販売する企業の日本法人62社は6日、「米国医療機器・IVD工業会(AMDD)」を発足したと発表した。これまで業界活動は在日米国商工会議所(ACCJ)内の一委員会を中心に進めてきた。独立した業界団体を設立することで、日本の薬事規制や医療保険価格改定などについて積極的に提言していく。これらにより、世界標準の先進医療技術を世界と同時期に日本市場に投入できる体制を構築する。

AMDDの会員企業は心臓ペースメーカーや人工心臓弁、カテーテル、人工関節など整形外科材料、眼内レンズ、大型画像診断機器、遺伝子診断、IVDなど、さまざまな先進技術を提供している。日本では会員企業全体で1万3000人の雇用を創出し、総売上高は約8500億円と日本市場の40%を占める。

以上